

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステム No. MDJ9590
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

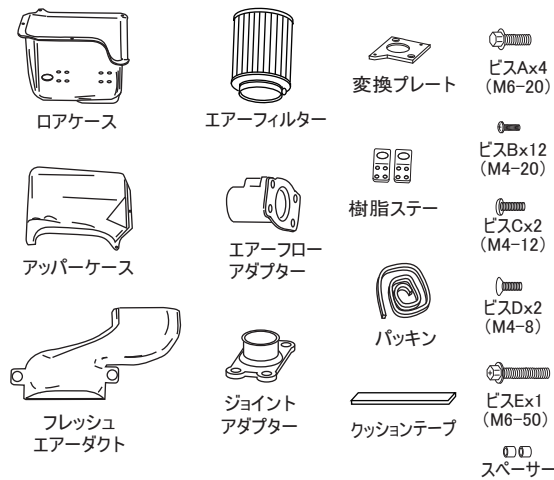
この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: デミオ (DJ5FS/DJ5AS)

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対に行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST

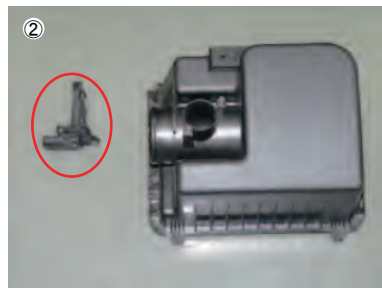


装着手順

注) ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取付けてください。



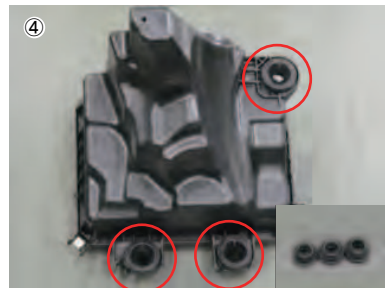
① エアフローセンサーのカバーを取外し、エアホースのホースクランプを緩めます。



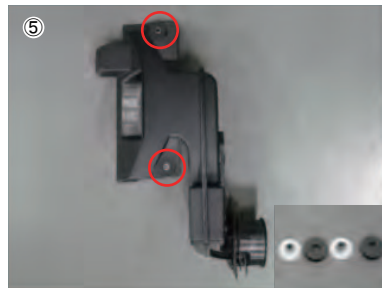
② エアークリーナーカバーを取外し、エアフローセンサーを取外します。



③ フレッシュエアードクトとエアークリーナーケースを取外します。



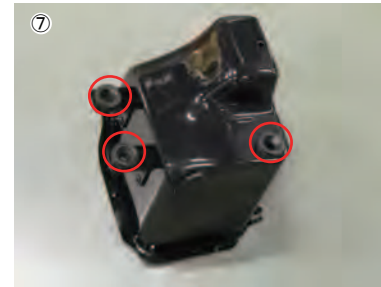
④ エアークリーナーケースからマウンティングラバー3個を取外します。



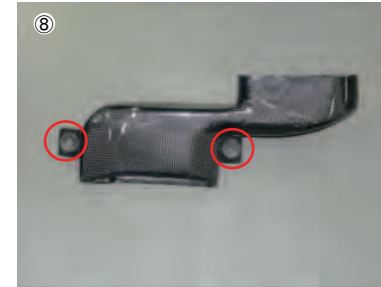
⑤ フレッシュエアードクトからマウンティングラバーとスペーサー各2個を取外します。



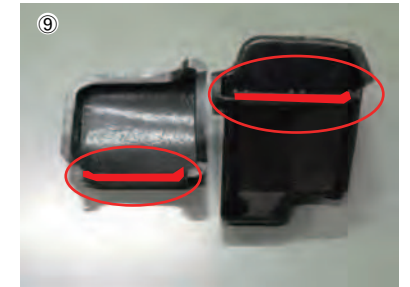
⑥ ビスBを使用して、樹脂ステーをロアケースに取付けます。



⑦ ロアケースと樹脂ステーに純正マウンティングラバーを取付けます。



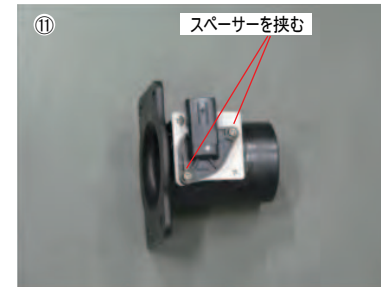
⑧ フレッシュエアードクトに純正マウンティングラバーとスペーサーを取付けます。



⑨ ロアケースとアッパーケースの図示部にパッキンをカットして貼付します。



⑩ ビスDを使用して、エアフローアダプターに変換プレートを取付けます。



⑪ エアフローアダプターにスペーサーを挟みエアフローセンサーをビスCで固定します。



⑫ エアフローアダプターにエアフィルターを取付け、ホースバンドで固定します。



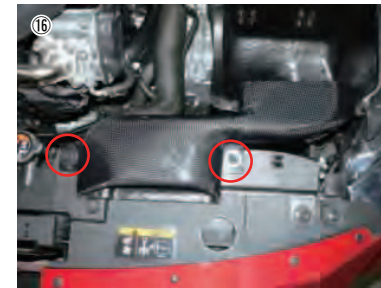
⑬ フィルターASSYとジョイントアダプターをアッパーケースを挟み、ビスAで固定します。



⑭ エアフローセンサーハーネスを穴に通し、ロアケースを車体に取付けします。



⑮ エアフローセンサーハーネスを通した穴の隙間にクッションテープを貼付けます。



⑯ フレッシュエアードクトを車体に配置して、純正ボルトで固定します。



⑰ エアフローセンサーハーネスをエアフローセンサーに接続します。



⑱ アッパーケースをロアケースに被せて配置し、エアホースを接続し、クランプで固定します。



⑲ インテークサクシオンキットと同時装着する場合は、ホースクランプのボルトをビスEに交換し取付けます。



⑳ ビスBを使用して、アッパーケースとロアケースを固定します。



㉑ 各部の増締めを行い作業完了です。